

三浦バイオマスセンターでの令和元年度 防災訓練実施計画書

※雨天順延

参加者と発災想定及び全員での設営等	訓練実施日時等	令和元年10月17日(木) 午後3時30分開始～6時00分迄の150分		
	参加者	〈大乘区会〉：6人 〈毘沙門区〉：6人 〈宮川区〉：8人 〈MKE〉：2人 〈ユーズ〉：6人 〈三浦市〉：防災課＝3人 三浦消防署＝3人 総合計 34人		
	発災想定等	訓練日当日の午後3時00分に南関東地震(当市で震度6強)が発生したと想定し、同3時30分に上記の全員がバイオマスセンターの管理棟(ユーズ事務所前)の駐車場に集合する。(荒天時は会議室に集合)		
	集合から全員での設営まで	1. 駐車場に全員が集合したら、(1)各団体の代表が出席者を確認し、その結果を推進委員長に報告する。(2)推進委員長から本日の訓練概要を説明し、注意事項を述べる。(3)続いて各訓練グループ別に分かれて、各グループの実務責任者が訓練内容の詳細を説明する。(以上雨天時＝会議室) 2. 3時50分～推進委員長の指示で、鍵の説明と防災倉庫の開錠を参加者にしてもらい、全員でテント・机・調理用具等を取り出し、テント張りや調理場の設営を4時10分迄に全員で完了させる。以降下記訓練に入る。(炊事用のコンロやロケットストーブは早目に着火し、湯を沸かし始める。)		
訓練区分	時間	訓練内容等	代表者・実務責任者・担当者名等	備考
1 避難所開設準備訓練	4:10 ～ 5:30	避難所開設準備訓練の主な仕事は、 (1) 地下1階のエントランスの一角に避難所入所者の受け付けコーナー(机1本と椅子2脚、入所者申込書、ボールペンを用意し、うしろの壁には「入所に関する基本方針」と「避難所運営方針」を張り出して、2名がスタンバイして、受付対応する。 ※参加者は必ず、手すき時間を見計らって全員が5時00分迄に入所申込書に記入提出することとします。→2名がそれを集計して、反省会で大乘区会長が人数を報告します。 (2) また、地下1階の倉庫から寝具2組と間仕切り用具を会議室に持ち込み、避難者寝具等を2区画セットします。 (3) 更に会議室で、当該訓練メンバーによる仮の「避難所運営委員会」を開いて、上述の基本方針と運営方針を学び合うことにします。(所長が朗読する。)	①この訓練グループの代表者は大乘区会長とし、実務責任者は専務として担当者は毘沙門副区長、宮川副区長、大乘区会組長、MKE所長、ユーズ社員としたい。 ・上記のうち(1)入所者受け付け担当2名を会長と毘沙門副区長にお願いする。(2)他の5人は寝具2組と間仕切り用具を会議室にセットし、その後避難所運営委員会を開設する。	
2 煙体験訓練 全員参加)	4:10 ～ 5:05	煙体験訓練は、全員参加とします。 (1) 地下1階管理棟前に設置した煙体験ハウスの前で消防署職員の説明を聞き、補助員としての役目を果たす。 (2) 体験ハウスの中には原則一人で入ってもらう。 (3) 1人入ったら、「1名入りました。」と出口の担当に伝える。 (4) 出口の担当は、前の人間が出てきたもしくは確実に出口が分かった時点で入り口担当に「次お願いします。」と伝える。 (5) 一定の時間で出てこない場合は出口の担当が迎えに行く。 (6) 煙体験訓練班員は、交代で消火訓練を行う。	①左記訓練は全員参加とし「煙体験班」→「避難所開設準備班」→「消火班」→「炊事班」の順番で行います。 ②煙体験訓練の代表者は毘沙門区長とし、実務責任者はユーズ課長、担当者は大乘副会長、宮川副区長としたい。	
3 消火訓練 全員参加)	4:10 ～ 4:50	消火訓練は全員参加とします。(使用期限の近い消火器は現物を使います。) (1) 本訓練は実際に火を使うため、消火班は事前の説明に耳を傾け事故のないよう十分に注意する。 (2) 消火器の台数に合わせて訓練がスムーズに進むよう隊列を整える。 (3) 各参加者が「火事だー」の声が出るよう指導する。	①消火訓練も全員参加とし、「消火班」→「炊事班」→「煙体験班」→「避難所開設班」の順番で行う。 ②消火訓練の代表者は宮川区長とし、実務責任者はユーズ部長として担当者は大乘区会計、毘沙門区会計、宮川副区長としたい。	
4 炊事訓練	4:10 ～ 5:30	このグループは(1)テントの中と周辺で、コンロ等と備蓄食品を用い米・缶詰等の簡易な軽食を調理して、(2)5時10分迄に約30食分を、会議室に並べることとします。 炊事班は適宜交代で煙体験訓練と消火訓練に参加する。 ※盛付けや会議室への料理運びは、他の訓練が終わった人の手を借りることにして下さい。	①代表者は宮川副区長とし、実務責任者をユーズ主査として、担当者は3区からの5名を加えたい。	
5 反省会	5:30 ～ 6:00	(1) 大災害地域支援計画書(修正第3版)の活用と今後の引継ぎについての説明を行う。 (2) 食事を全員でとりあいながら、本日の訓練の講評を防災課から3分程度、消防署から3分程度もらう。 (3) その他、参加者から自由に本日の訓練の感想等を出していただく。	①この場の進行役はMKE所長としたい。	※反省会はシナリオを作って望む。 ※ダイドーの飲料提供の紹介方々、感想発言。

※各訓練の実務責任者は8月末迄に各訓練の詳しい作業内容や手順等を明確にした「〇〇訓練説明書」を作成して下さい。

※3区から3名ずつ出して頂く方の氏名と、各訓練の代表者以外の方のご希望訓練を8月末迄に3区長からユーズに提出して頂きたい。それにより訓練別の内容の詳細と、担当者名の入った説明書を10月上旬に3区長さんにお届けしますので、担当者に配布いただき、訓練当日皆さんにご持参下さる様、お願い致します。

※煙体験班、消火班はすべての参加者が訓練終了と判断したら積極的に炊事班の手伝いをお願いします。

※ユーズの主任は、全体の時間の流れをチェックし各代表者と調整し、また各訓練の写真を撮り、記録をまとめることとします。